

1日も早い災害廃棄物処理を目指します



フジタ・東亜・青木あすなろ・大豊・本間・河北・佐藤JV

二次仮置場・焼却炉の解体進む

1月より二次仮置場、焼却炉の解体が始まりました。キルン炉は2012年4月から、ストーカ炉は同年6月から稼動し、焼却量は累計約13万tとなりました。ゴミ投入コンベア、消石灰投入設備などの周りの設備の撤去が終了し、現在は二次燃焼炉、ガス冷却塔、バグフィルター等の解体準備作業を行っています。

焼却炉以外ではクリーンルームの解体・撤去が完了、外周のフェンス、土のうの撤去が進められており、処理区内の舗装の撤去も始まっています。

撤去にあわせて、2月10日に処理区の事務所が旧中浜小学校体育館跡地に移動します。新住所は「坂元字久根22-2」です。

12月から継続して新山下駅周辺整備工事へ再生砕石、国交省中浜工区坂元復旧工事および福島県新地町への再生土の運搬を行っています。2月も引き続き再生土などの再生資材、二次仮置場の盛土材を、復旧・復興工事へ運搬を行います。



新地町での再生土積み降ろし状況

処理区の今



焼却炉解体状況
焼却炉全体を覆う建屋を設置しています。

山元JV
玄工事担当
技術者より
ひとこと



去年の10月に山元作業所に来て4ヶ月が経ちました。

今まで経験した事がない仕事で最初は戸惑いましたが、周りの方に助けられ何とか今までやって来れました。

これからも、最後まで頑張っていきます。

Q: 焼却炉の解体が始まっているそうですが、解体によりダイオキシン類や放射性物質が拡散しませんか？

A: 右上の写真のように、ダイオキシン類に汚染されている設備の除染・解体は、密封した建屋の中で行います。建屋内の空気を集じん機で吸い、外部より気圧を低くして、建屋内からダイオキシン類・放射性物質を含む粉じんが出ないようにして作業します。集じん機には、HEPAフィルター等の数種のフィルターを通して外部に排気しますので、ダイオキシン類・放射性物質は外部に拡散しません。

搬出量(1月31日現在)

	搬出先	予定量(t)	累計搬出量(t)	進捗率(%)
コンクリート再生骨材	新山下駅周辺整備工事	33,000	33,000	100%
津波堆積物処理土砂	森林管理署⑧⑨	65,000	70,000	108%
	新地町	584,000	34,600	6%
主灰・飛灰・ホト類	小鶴沢処分場	21,000	18,000	86%

2月の業務予定

	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
【復旧工】					
キルン炉解体		大開いテント組立			
ストーカ炉解体		大開いテント組立			
舗装撤去		舗装撤去			
路盤・盛土材撤去		路盤・盛土材・透水シート撤去			
大型土のう撤去		土のう撤去			
【最終処分場搬出】					
焼却灰		小鶴沢処理場へ搬出			
【再生材搬出】					
再生土		森林管理署⑧⑨へ搬出			
		国交省海岸堤防へ搬出			
		新地町へ搬出			
				新山下駅周辺整備工事へ搬出	

お問い合わせは
0223-37-7451
まで

発行：災害廃棄物処理業務(巨理名取ブロック(山元処理区))
フジタ・東亜・青木あすなろ・大豊・本間・河北・佐藤 特定業務共同企業体
〒989-2202 宮城県巨理郡山元町坂元字久根22-2
電話：0223-38-3831
(2月10日からの新住所・新電話番号です)